

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 星医療酸器
 コード番号 7634 URL <http://www.hosi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 星 幸男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 岡田 利夫
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3899-2101

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	6,136	1.2	736	△6.0	746	△7.0	410	△30.2
23年3月期第3四半期	6,061	3.7	782	8.6	802	9.1	588	33.3

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 398百万円 (△29.3%) 23年3月期第3四半期 564百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	123.62	—
23年3月期第3四半期	177.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	11,301	7,714	66.9
23年3月期	10,800	7,448	67.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 7,555百万円 23年3月期 7,296百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
24年3月期	—	20.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,600	4.5	1,050	△4.5	1,070	△4.3	640	△18.2	192.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	3,601,681 株	23年3月期	3,601,681 株
24年3月期3Q	277,894 株	23年3月期	277,814 株
24年3月期3Q	3,323,842 株	23年3月期3Q	3,323,911 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「添付資料」3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にある中で、景気は緩やかに持ち直してまいりましたが、欧州の政府債務危機による海外景気の下振れ懸念や為替レートの変動などにより、景気の先行きは一層不透明感を増してまいりました。

当医療用ガス業界も、医療機関等のコスト意識の高まりや、業界内の競合の激化など、引続き厳しい環境にあります。

このような状況下、当社グループにおきましては、社会貢献を念頭に、総合的な医療サービスの提供と顧客ニーズに即した対応を心掛け、経営の効率化や合理化に努め、業績向上に向けた営業力の強化等を積極的に図ってまいりました。

これらの結果、売上高は6,136百万円(前年同四半期比1.2%増)となりました。一方、損益面につきましては、厳しい市場環境のなか、前述の施策を推進してまいりましたが、経常利益が746百万円(前年同四半期比7.0%減)となり、四半期純利益は410百万円(前年同四半期比30.2%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①医療用ガス関連事業

当部門の需要は、引続き増加傾向にありますが、その上昇度合は緩やかであり、国の医療費抑制政策の影響や、平成24年4月の診療報酬並びに薬価の改訂を控えていることにより、今後の動向は不透明で、かつ業界内の競争も激化していることから、企業体力の維持・向上と取引基盤の拡充を図るべく、新規取引先の成約に向けた営業活動の強化と、既存取引先との取引拡大に注力するなど、各種営業努力を重ねております。

これらの結果、売上高は2,581百万円(前年同四半期比2.4%減)、セグメント利益は331百万円(前年同四半期比8.6%減)となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は当社グループにおける重要な収益源とすべく恒常的に注力しており、担当者の営業スキルの向上を目的とした社内勉強会や、当社の知名度の向上と、取扱商品の周知を目的とした院内勉強会等を継続的に実施しております。

また、同部門に対する人員の集中的配置や、大規模医療機関への継続的勧誘が、徐々に成果に結び付きつつあります。

加えて、主力商品である在宅酸素療法用酸素供給装置において、従来からの営業活動を継続するとともに、新製品(商品名:パレッツ)を開発し、今後その拡販にも注力する予定です。

また、人口呼吸器やCPAP(持続陽圧呼吸療法-閉塞型睡眠時無呼吸症に対応する機器)の販売強化にも、引続き努めております。

これらの結果、売上高は2,278百万円(前年同四半期比6.5%増)、セグメント利益は363百万円(前年同四半期比19.9%増)となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、各医療機関より医療用ガス配管設備の工事・メンテナンス等の受注は引続き安定しており、前期受注済の工事の完成もあったものの、売上高は404百万円(前年同四半期比8.9%減)となり、セグメント利益は10百万円(前年同四半期比84.0%減)となりました。

④有料老人ホーム関連事業

東京都杉並区阿佐ヶ谷で運営中の有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」は、平成22年12月に増床工事を行った関係で、一時的に低下した入居率の向上が最大の課題ですが、金融機関や入居者紹介業者等との連携強化という営業活動に加え、施設の立地条件の良さや施設内容が充実している点等が好感を得て、体験・短期間利用も含め着実に入居者は増加傾向にあります。

これらの結果、売上高は144百万円(前年同四半期比16.2%減)、セグメント損失は38百万円(前年同四半期セグメント損失24百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は11,301百万円(前連結会計年度末比501百万円増)となりました。これは主に、流動資産のうち、現金及び預金が358百万円増加したこと、及びたな卸資産が106百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は3,587百万円(前連結会計年度末比235百万円増)となりました。これは主に、未払金が51百万円増加したこと、及び未払費用の増加54百万円、リース債務の増加130百万円があったこと等によるものであります。

純資産は7,714百万円(前連結会計年度末比265百万円増)となりました。これは主に、配当金の支払いによる減少132百万円及び当第3四半期純利益410百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期における業績は概ね計画通りに進捗しており、前回公表(平成23年11月7日)の通期の業績予想に修正はありませんが、業績予想を見直す必要が生じた場合には、適時に見直し数値を開示する予定であります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 追加情報

法人税率の変更等による影響

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の見積実効税率の変更により、法人税等は18,820千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,653,811	5,012,768
受取手形及び売掛金	1,698,626	1,524,590
たな卸資産	212,076	318,142
繰延税金資産	61,041	61,493
その他	36,294	65,010
貸倒引当金	△22,453	△11,739
流動資産合計	6,639,397	6,970,266
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	662,981	628,261
土地	1,851,903	1,851,903
その他(純額)	668,222	722,072
有形固定資産合計	3,183,106	3,202,236
無形固定資産	84,830	129,285
投資その他の資産		
投資有価証券	417,473	475,980
その他	478,563	526,110
貸倒引当金	△3,229	△2,284
投資その他の資産合計	892,807	999,805
固定資産合計	4,160,744	4,331,328
資産合計	10,800,141	11,301,594
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,333,966	1,364,055
1年内返済予定の長期借入金	117,636	117,636
未払法人税等	126,124	169,540
賞与引当金	101,000	53,650
その他	604,229	790,738
流動負債合計	2,282,956	2,495,620
固定負債		
長期借入金	352,955	264,728
役員退職慰労引当金	413,597	443,657
長期預り保証金	18,851	15,453
その他	283,033	367,690
固定負債合計	1,068,437	1,091,529
負債合計	3,351,393	3,587,150

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	513,708	513,708
利益剰余金	6,792,428	7,070,354
自己株式	△467,025	△467,182
株主資本合計	7,275,291	7,553,060
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,832	2,539
その他の包括利益累計額合計	20,832	2,539
少数株主持分	152,623	158,844
純資産合計	7,448,748	7,714,444
負債純資産合計	10,800,141	11,301,594

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	6,061,045	6,136,386
売上原価	2,727,075	2,777,060
売上総利益	3,333,970	3,359,325
販売費及び一般管理費	2,551,264	2,623,268
営業利益	782,705	736,057
営業外収益		
受取利息	6,222	7,684
受取配当金	7,035	7,788
その他	12,308	4,203
営業外収益合計	25,566	19,676
営業外費用		
支払利息	5,494	8,788
営業外費用合計	5,494	8,788
経常利益	802,777	746,945
特別利益		
投資有価証券売却益	—	600
固定資産売却益	—	193
特別利益合計	—	793
特別損失		
固定資産除却損	4,331	2,100
投資有価証券売却損	2,300	—
特別損失合計	6,631	2,100
税金等調整前四半期純利益	796,146	745,638
法人税等	199,355	329,580
少数株主損益調整前四半期純利益	596,791	416,057
少数株主利益	8,428	5,178
四半期純利益	588,362	410,879

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	596,791	416,057
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,758	△17,250
その他の包括利益合計	△32,758	△17,250
四半期包括利益	564,032	398,807
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	556,963	392,586
少数株主に係る四半期包括利益	7,069	6,220

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	有料老人 ホーム 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,644,632	2,140,532	419,178	172,212	5,376,556	684,489	6,061,045
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	24,850	—	24,850	933	25,783
計	2,644,632	2,140,532	444,028	172,212	5,401,406	685,422	6,086,829
セグメント利益 又は損失(△)	362,499	303,411	65,843	△24,223	707,532	99,830	807,362

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護福祉関連レンタル事業、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	707,532
「その他」の区分の利益	99,830
セグメント間取引消去	△24,656
四半期連結損益計算書の営業利益	782,705

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	有料老人 ホーム 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,581,336	2,278,693	394,888	144,356	5,399,275	737,110	6,136,386
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	9,685	—	9,685	—	9,685
計	2,581,336	2,278,693	404,573	144,356	5,408,960	737,110	6,146,071
セグメント利益 又は損失(△)	331,186	363,665	10,510	△38,545	666,816	70,267	737,083

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護福祉関連レンタル事業、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	666,816
「その他」の区分の利益	70,267
セグメント間取引消去	△1,026
四半期連結損益計算書の営業利益	736,057

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。